

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2170400481		
法人名	有限会社夢家族		
事業所名	グループホーム夢家族丸の内		
所在地	岐阜県羽島市竹鼻町丸の内2丁目13-5		
自己評価作成日	令和3年7月31日	評価結果市町村受理日	令和3年10月8日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kajirokensaku.mhlw.go.jp/21/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2170400481-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kajirokensaku.mhlw.go.jp/21/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=2170400481-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ぎふ福祉サービス利用者センター びーすけっと
所在地	岐阜県各務原市三井北町3丁目7番地 尾関ビル
訪問調査日	令和3年8月31日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ホームでの年間目標を「みんなで協力し、利用者様・ご家族様に信頼されるサービスを提供します」にしました。  
 信頼を得られるために、共感を意識し話を傾聴することと、社会人としての基本的マナーを身につけられるよう取り組んでいます。  
 また、ホーム内で作業療法ゲーム、体操、レクリエーションなどをして、脳活筋力アップをはかっています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は、コロナ禍で様々な行動が制限される中、職員の提案でレクリエーションが考案され、利用者の残存機能の活用と発掘に役立っている。管理者と職員が提案した企画は、スピーディな判断で実行に移されている。利用者は、職員手作りのパズルで楽しんだり、喫茶店の雰囲気、ドリンクメニュー表から飲み物を選ぶなど、ランチ形式の食事を楽しんでいる。利用者が望むことを可能な限り実現できるよう見守り、支援しながら、共に穏やかに過ごしている。代表者は、職員の介護力だけでなく、社会的な資質向上のために目標を課しながら、人間力を育てている。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価票

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼・夕礼で利用者様が物心両面の安心感を持って暮らして頂けるよう語り合っています。ご本人はもちろんのこと、ご家族様への支援にもつなげていきたいです。	法人としての理念、事業所としての年間目標を掲げている。毎日、申し送り時に確認し、常に理念や目標を意識しながらケアに取り組んでいる。職員は理念と目標の意義を理解し、暗唱することもできる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元のごみ当番の仲間に入れてもらい、事業所の仕事内容もお話して、理解を得ています。	今までは、地元の祭りやサマーフェスティバルに参加していた。歌唱ボランティアの訪問時には、近隣住民も参加し、楽しく交流をしていたが、今は、感染予防の為、中止となっているが、ゴミ当番や、子供たちを見守る「子ども110番の家」の役割は、継続している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議を通して、行事の参加などで、支援の方法を示しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、現状報告・行事報告・ヒヤリハット報告をして、サービス向上に活かしています。	今までは、運営推進会議に家族代表も参加し、利用者が過ごす居間で開催していた。現在は、書面会議としている。内容は報告が主となっているが、報告書には質問や意見欄を加え、連絡先を記して運営推進会議メンバーに送付している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	行政にはコロナ禍になってから運営推進会議は書面会議で代替とさせていただいています。地域包括支援センターから頂いた情報で入所につながったケースもあります。	運営推進会議の議事録(報告書)についての問い合わせに回答しながら、意見交換を行っている。行政とは、電話で相談したり助言を受けている。介護相談員の受け入れは中止している。ワクチン接種の際には、何度も連絡を取り合い、無事、接種を完了した。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアの実践はすべての職員が理解をしています。オムツ外し、転倒の危険性のある利用者様に対し、夜間のみつなぎ服・4点柵の対応をしていましたが様子を見ながらつなぎを無くしました。	毎月、主任会議を開催しており、3か月に1回、身体拘束委員会も併せて行っている。以前はつなぎ服着用の利用者もあったが、様子を見ながら対応することで止めることが出来ている。工夫をしながら、身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止については、職員も理解しています。職員は毎日思いやりの気持ちで利用者様に接しています。9/15高齢者虐待防止研修を予定しています。		

岐阜県 グループホーム夢家族・丸の内

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者は権利擁護の研修を受けており、成年後見制度の経験はありませんが、学ぶ機会は持とうとしています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、施設長がご家族に十分な説明をしています。改善の際は、文章にして通達しています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様の意見・要望を聞くため、アンケート調査を実施しています。	面会時や電話等で、家族の要望を聞いている。ホームの活動状況と利用者の様子が分かる写真を掲載したホーム通信や、毎月、利用者の様子を書いた「生活便り」を家族に送付している。	毎月、家族に「生活便り」を送付している。可能であるならば、本人からの一言、一文字でも、書ける人書き加えてもらったり、家族からの要望欄を設けるなど、相互の通信となる工夫にも期待したい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者や管理者は、個人面談を通して、職員の意見・要望を聞き取り、それを運営に反映させています。	職員の提案は朝礼・夕礼時に聞いている。提案・話し合い・実行とスピード感を持って、取り組んでいる。レク委員会・介助力向上委員会・接遇委員会・防災委員会など、様々な委員会を設けたことで、職員から多くの意見を聴く機会となり、利用者の暮らしの充実につながっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は、主任会議、個人面談、筆記テスト、実施テストなどで、個々の努力や実績を把握しています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は筆記テスト、実施テストなどで、個々の力量を把握しています。初任者研修、管理者研修など受けさせています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	代表者は研修などを通して、同業者と交流する機会を作り、参考になることは、ミーティングの中で勉強会をしてサービスの向上につなげています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に自宅や病院へ面会に行き、ご本人に今困っていること、こうなりたいと思っていることに耳を傾けて、サービスに取り入れています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族という中にも、一緒に暮らしている家族と、別々に暮らしている家族では不安や要望が違っていたりするので、しっかり確認しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス導入の段階で、本人と家族の必要とすることが違うこともあるので、確認しています。主治医で身体状況が改善しない場合は、専門医にもかかっています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は利用者様の能力の範囲内で、できることはやっていただきます。利用者様はそれを自分の仕事として、張り切ってやっていただけます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様の今までの苦しみは十分に理解し、お預かりすることで、安心して暮らせるよう支援しますが、ご協力いただけることはこまめに連絡し、本人様との絆を保っています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出支援は控えておりますが、ご友人と電話でお話してもらうなど、関係をつなげていただいています。	コロナ禍で、家族との自由な面会も中止となり、戸外・玄関先で短時間での対応となった。理美容院へは、職員が対応したり、希望があれば、家族の協力を得て出かけている。代表は、利用者の希望に応え、同法人事業所の利用者との交流が途絶えないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士が、トランプやカルタで競い合ったり、一緒におやつ作りをしたり、微笑ましい光景が見られます。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	別の施設に移られた際は、ご本人様の心身の状況を相手方にお伝えします。病院へ転院の際は、移られた病院へ電話でお聞きし、状態を把握します。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個別に面談することで思いを把握するようにしています。想いを発することができない方に対しては、本人の様子から状況を把握するよう努めています。	利用者が「望んでいること」や「嫌なこと」、何気ないひと言も聞きもらさないよう心がけ、職員間で共有している。言葉に出せない利用者の思いは、日常ケアの中で職員が推し量り、本人本位の穏やかな暮らしにつなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族に生活歴を記入して頂き把握に努めています。更にご家族から趣味などの聞き取りを行いサービスに反映させています。又、日常の暮らしの中で興味のあることの把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	介護記録や申し送りノートを参考に、スタッフから状況の聞き取りを行うなど現状把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	個別に担当制を設け環境整備とともに毎月のミーティングにおいてケースカンファレンスを行い、状況に応じた意見やアイデアを出し合って反映させています。	介護計画作成担当者は、週2回訪問して利用者の状況を把握している。月1回のミーティング時には、全職員でモニタリングを行い、利用者の現状に即した介護計画にしている。家族同席のサービス担当者会議を検討していたが、コロナ禍で見合わせている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護記録や申し送り、支援経過記録を活用し情報の共有に努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人の要望に沿い、ご家族の協力を得て好みの菓子等を持参して頂くなど、個別対応のサービスに心がけています。		

岐阜県 グループホーム夢家族・丸の内

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍において、地域のまつり等は中止となっていますが、散歩を兼ねて桜花見や藤の花見など近隣への外出を行っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	馴染みの主治医を希望された方は、継続して往診して頂き状態に応じた指示を仰いで対応しています。	利用者・家族の希望で、入居前のかかりつけ医の訪問診療を継続し、定期往診以外は家族同行で受診している。月2回、協力医の往診と訪問看護師の巡回があり、利用者の体調管理と共に、常に適切な医療を受けられるよう支援している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	月に2回看護師の訪問を受けるときに、利用者の状態を伝えています。又、状態が気になりな時はその都度訪問看護師に相談しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院となったときは、ホームでの生活状況等の情報提供を行っています。退院間近になると病院スタッフと連携を図り退院後の注意事項等の情報を得ています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にご家族より終末期の希望を確認しています。又、実際に終末期を迎えた場合にはその都度、方針の確認を行います。	入居時に、重度化や終末期についての事業所の方針を説明し同意を得ている。利用者の状態に変化があった時には速やかに訪問看護師に連絡し、看護師の指示の下、適切な対応を行っている。	職員は、看取りの経験がある。過去には職員研修も行っていたが、現在、中断している。どの職員も不安なく利用者と家族に向き合えるよう、定期的な看取りに関する研修を行うことを期待したい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防署より心肺蘇生の指導訓練を定期的に行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練を年に2度実施しています。防災委員会を設置して避難方法などの対策を行っています。	火災・水害における避難訓練を実施している。防災委員会を中心に、様々な状況を想定して対策を検討している。災害時において、速やかに参集する職員を決め、備蓄も完備している。令和4年春、新規開設する事業所を、避難所として利用できるよう準備している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の個性とこだわりに合わせて、声掛けや対応を職員間で共有し、行っています。	利用者一人ひとりを尊重し、全てを受け入れ、こだわりを認めながら行動を見守り、寄り添う支援に努めている。職員は、排泄の訴えを見逃さないように目配りし、周囲に配慮しながら、誇りを損ねないよう小声での声かけを心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	はっきりと希望が伝えられる方は対応しやすいですが、アルツハイマーの方や鬱傾向の方は難しいので、表情やしぐさで把握するようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴日は決まっていますが、利用者様の気分や体調によっては別の日にしたりしています。食事の時間が来ても、寝ていたい時はそのようにしてもらっています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	高齢であっても、朝夕乳液をつけたり、朝、顔を洗う際は、鏡の前にお連れしたりと、自宅にいた時と同じようにしてもらっています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様本人の食べられる物、食べられない物に合わせて配膳しています。月1回お弁当の日があったりと楽しみを持って頂ける食事の提供をしています。	1年前から配食サービスを利用しているが、ご飯と汁物はホームで作っている。また、配食サービスが休みの日は、利用者の希望を聞きながら、職員が調理している。10時と3時のおやつは手作りしている。たこ焼きパーティーや、喫茶店風にして楽しめるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様本人の食べられる量に合わせて、提供しています。水分摂取量も確保できるよう、お茶の時間を増やしたりしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分で歯磨きができる方、介助が必要な方、うがい薬が必要な方など、一人一人に合わせた口腔ケアを行っています。		

岐阜県 グループホーム夢家族・丸の内

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	1名の方は昼夜オムツ対応ですが、他の方は、トイレの一部介助か、自立のできるので、できるだけトイレに行ってしていただくようにしています。	昼間はトイレでの排泄を基本にし、夜間は安全のためポータブルトイレを置いている利用者もある。排泄用品は持ち込みもできる。オムツ取扱い業者の講習を受け、適切な使用に努め、利用者の状態や時間帯に応じた排泄用品を選択している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事には繊維質の多い野菜を取り入れ、水分量もしっかり取ってもらっています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日は決まっていますが、利用者様のその時の気分や体調に合わせて、曜日や時間帯の変更をしています。	個々に週2回の入浴日があるが、利用者の状態に合わせて、柔軟に対応している。一人でゆっくり入浴を楽しみたい利用者は、見守りで支援し、立位困難な利用者は、複数の職員で安全に入浴できるよう介助している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お昼寝の時間、就寝時間は自由です。テレビを見ている方もいらっしゃれば、すぐ寝てしまう方もみえたりと、様々です。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様一人一人が、どんな病気でどんな薬を服用しているか、情報を共有しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	歌の好きな方はDVDで一緒に歌ったり、体操・パズル・塗り絵など一人一人に合わせた支援を行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	外出支援は控えておりますが、利用者様のご希望に合わせて公園まで散歩に行ったりしています。	コロナ以前は、季節の花見やカラオケ、外食等にも出かけていた。今は、感染対策をした上で、近くの「市民の森」へ散歩に出かけている。玄関前は日当たりがよく、利用者が外気浴で気分転換できるよう工夫している。	



岐阜県 グループホーム夢家族・丸の内

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持つことは自由ですが、現在持っている方はいらっしゃいません。買い物の要望がある時はご家族様の了解をもらい、本人様と一緒に買い物へ行く支援を行っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙を書くのが趣味な利用者様のご家族様宛に書かれるので、届けています。時には、職員にもいただきます。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関前には季節の花のプランターを並べています。廊下には行事の写真を飾ったり、利用者様みんなで作った作品などを飾ったりしています。	利用者が趣味で作った作品が至る所に飾られている。また、職員がアイデアを出し、利用者が作った作品にも季節感がある。トイレが居間の横にあるが、目隠しや尿臭に配慮しており、慌てることなく利用することができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	歌や相撲などが好きな利用者様にはテレビの前に椅子を並べ、楽しんでもらえるようにしています。一人静かに過ごしてみえる方もいらっしゃいます。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	娘さんのパッチワークが飾ってある部屋、ご自分で作られた作品が飾ってある部屋、ご家族様の写真が飾ってある部屋など個性的な部屋作りになっています。	手作りの暖簾がかけられ、自室を間違えない工夫がされている。ベッドと衣装ケース、小物が置ける棚が備えてあり、テレビは持ち込みである。利用者の好きな写真や作品を飾り、思い思いの居室になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自室で出たごみを捨てにくる方、ご自分で髭剃りや爪切りをされる方、それぞれの動きを見守っています。		